

# 強い意志をもつ子どもを育てる

広島市立可部小学校  
 児童数 732人  
 TEL 082-814-2428

## 実施目的

本校が、66年間継続して培ってきた健康教育により、児童は健康に関する全般的な知識や基礎的な運動技能を身に付けている。しかし、児童の実態から、活動を行うことに終始し、自身をより良く高めていこうという向上心に欠けているという課題が見られた。そこで、長年本校が継続してきた取組を整理し、教師が児童に「できた」という達成感を味わわせることにより「もっとできるようになりたい」という児童一人一人の向上心を育み、できるまで粘り強く挑戦し続ける「強い意志をもつ子ども」を育てることができると考えた。

## 実施内容

**1 おはようタイム(業前体育)**  
 心身ともに良好な学校生活を送るために、火曜日と金曜日の週2回(月8回)8:20~8:30の10分間を「おはようタイム」と名づけ、長年継続して取り組んでいる。内容は、準備運動、主運動、目の体操(ぐりぐり体操)や行進を行う。主運動は、綱引きや長縄、ボール投げなどを行う。また、主運動では、めあてを明確にして行う。主に、握力と投力の向上を重点に置いて、体力向上を目指す。

**2 新体カテストへ向けた取組**  
 本校の積年の課題である握力の記録で、全国平均を上回ることに重点を置くとともに、全項目で児童の持つ最大限の力を出し切ることを目指して、組織的、計画的に取り組む。

**3 体育科授業改善へ向けた取組**  
 『「できた」達成感を大切に授業づくり』を研究主題に設定し、教師の自己満足ではなく、児童が「できるようになった」という達成感を、頻りに味わうことのできる授業づくりを目指す。  
**10月27日(木)体育科授業改善 公開研究会**  
 ・おはようタイム  
 ・授業公開 4年生:跳び箱運動  
 6年生:体づくり運動  
 ・実技研修(ジャベリックボール投げの指導方法)

### 主な成果

- 全体的に児童の体力の向上を図ることができた。特に積年の課題であった握力については、児童に各種の運動を楽しませながら向上させることができた。その結果、全国平均を上回った学年の割合は、平成27年度33%であったのに対し、平成28年度は100%となった。
- 年間を通した目標を設定し、おはようタイムで毎回長縄跳びに取り組ませた結果、全学年で飛躍的に記録が伸びた。長縄跳びに取り組んだ結果として児童の調整力が向上した。

## 実施上で工夫したこと

- 1 おはようタイム(業前体育)**
- ① 「握力」の向上  
 おはようタイムの始めに、グーパー体操(手を握って開く体操)を取り入れ、主運動では綱引きを計画的に実施している。学級対抗戦も仕組み、児童が意欲的に運動することができるよう工夫している。また、雨天時は室内で腕相撲に取り組ませている。  
 児童が熱中し、意欲的に取り組んだ結果が握力向上につながっている。
  - ② 長縄跳び(3分間8の字跳び)  
 毎回準備運動として長縄跳びをすることで、体と心をほぐし無駄なく主運動へと移ることができている。また、学級で団結し、声をかけ合いながら行うことができるので、明るい雰囲気となり、主運動に意欲的に取り組ませることができる。
  - ③ 心を育む行進(集団行動)  
 目線、指先、腕の振り方、もの上げ方、行進のリズムなど、毎回児童の実態に合っためあてを提示し、取り組んでいる。

**2 新体カテストへ向けた取組**  
 目標を達成するために、教員と児童がそれぞれ高い意識をもって、新体カテストを実施することができるよう、組織的、計画的に取り組んでいる。

- ① 教職員を対象とした実技研修会(指導のためのコツやポイントの確認)
- ② 握力トレーニングの環境整備(児童の意欲喚起)
- ③ 昨年度の自分の記録と全国平均の比較(全児童が自己の課題を把握して取り組む)

**3 体育科授業改善へ向けた取組**  
**【授業づくりの視点】**

- ① 課題の持たせ方
- ② 教師の言葉かけ
- ③ 教具、場の工夫

**【体育科実技研修】**  
 授業改善に向けて、教師のレベルアップを目指し、講師を招いての実技研修を行っている。児童になったつもりで実際に運動し、講師から具体的な指導について教えていただくことで動きのコツやポイントを学ぶことができています。

- 日常の中で、次のような児童の変化が見られた。
  - ・ 雨天時には、友達と一緒に、教室内で腕相撲をして楽しむ児童が増えた。児童の握力の向上につながった。
  - ・ 教具、場の工夫などの授業改善の取組により、児童は投げることへの抵抗が少なくなり、ボール運動に対して積極的に取り組むようになった。ハンドボールの授業では、良いフォームで投げる児童も多くなった。休憩時間にも、ドッジボールなどボールを投げる遊びをする児童が多くなった。



おはようタイム 主運動(綱引き)



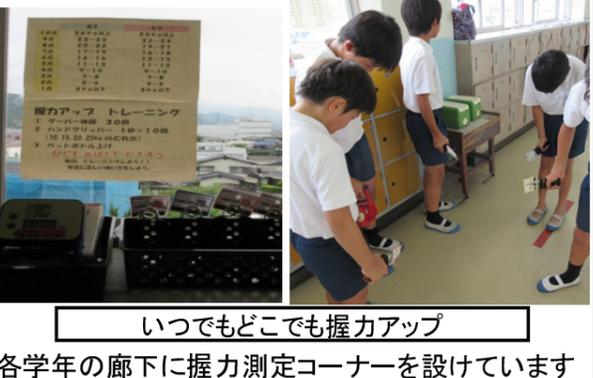
おはようタイム 腕相撲(雨の日)

握力や投力の向上など目的をもって主運動を行います 児童が意欲的に取り組めるよう、遊びの要素を取り入れています



心を育む集団行動

心を一つにそろえ、元気いっぱいの行進を行います



いつでもどこでも握力アップ

各学年の廊下に握力測定コーナーを設けています



毎回目標をもって3分間8の字跳び

目標を明確に持ち、学級で団結して体カアップに取り組んでいます



児童の体カアップへ向けた授業改善

達成感を生み出すため、児童も教師も挑戦します

## 広島県全体の総合評価ABの割合(%)との比較

